

popLA支援ソフトウェア

popLAD a t a t o T X T 2 ソフトウェア

Ver.1.41M

2016年09月10日



*HelperTex Office*

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

```

/*
* Version 1.100 2009-11-10 PoleDisplayTXT2 枠サイズに対応
* Version 1.110 2009-11-10 EPF(73データ)対応
* Version 1.120 2009-11-10 POlefugreファイル選択
* Version 1.200 2009-11-11 POlefugre,ODFファイル選択(60deg NG),Process 対応
* Version 1.210 2009-11-11 再度、EPF(73データ)対応
* Version 1.220 2009-11-12 EPFファイルの場合、 $\alpha$ Stop=90とした。
* Version 1.221 2009-11-12 WPFファイルを追加
* Version 1.300 2009-11-19 ODF Squareをサポート
* Version 1.310 2009-11-19 CHDファイルを追加
* Version 1.311 2009-11-24 Homeを c:\Xとした。
* Version 1.312 2009-12-12 Delete work domain追加
* Version 1.313 2009-12-12 GV
* Version 1.314 2011-01-05 PoleFigue->PoleFigure
* Version 1.315 2011-01-06  $\beta$  19個の場合極点図が5度回転している修正
* Version 1.316 2011-01-06 極点図HPF追加
* Version 1.317 2011-01-06 極点図(APF)追加
* Version 1.31X 2012-03-22 X高速
* Version 1.32X 2012-06-18 DirectX
* Version 1.40X 2012-09-23 1/4極点図をCW->CCW表示に変更
* Version 1.41X 2012-09-28 1/4極点図,1/2極点図をfullで表示

```

#### 対応ソフトウェア

P o l e D i s p l a y T X T 2	1. 1 0 7 以降
O D F D i s p l a y T X T 2	1. 0 0 1 以降
O D F D i s p l a y	1. 1 0 6 以降

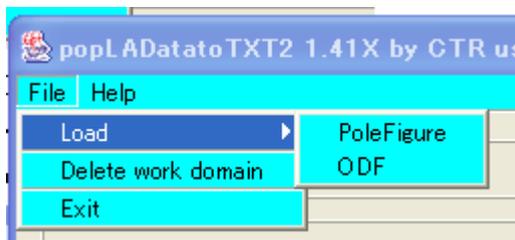
## 概要

popLAはD o sで動作するため、描画は貧弱、その為、手持ちの部品を使って表示機能を提供します。  
本ソフトウェアは、popLAで作成する、極点図やODF図をTXT2フォーマットに変換し  
それぞれ、popLEDisplayTXT2、ODFDisplayTXT2ソフトウェアで表示する。  
作成されたTXT2データは、c:\¥X¥workディレクトリに作成される。  
変換描画はすべてFullとした。

## プログラムの使い方



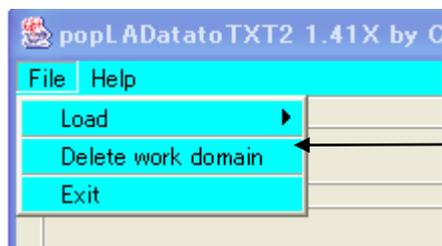
## ファイル選択



極点図やODF図を指定する。

## 作成されたTXT2ファイルの削除

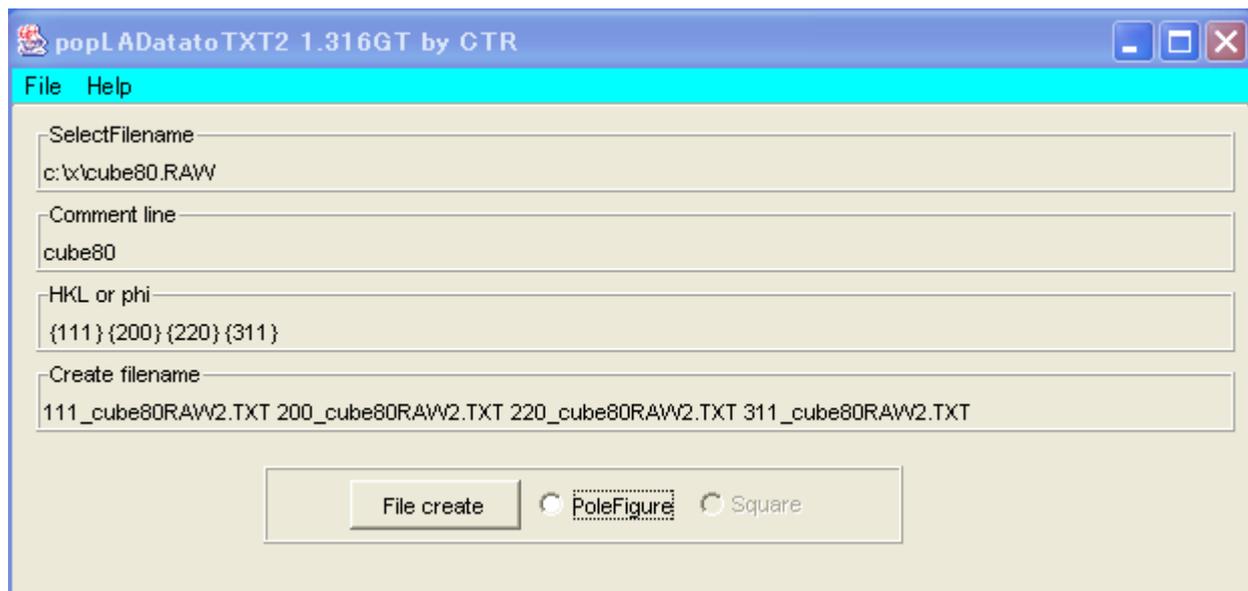
大量のファイルが作成されるので、時々削除する。



選択で削除される。

## 極点図の表示

popLA入力データ (cube80.raw)



入力極点図は、{111}{200},{220},{311}

作成されるファイル名は、hkl\_ファイル名+2.TXT

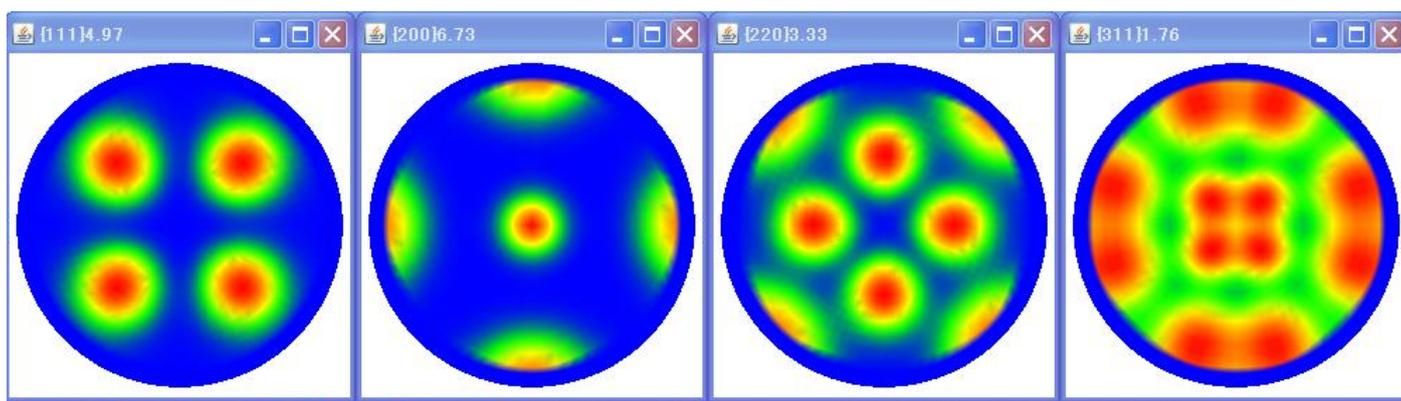


で c:\¥¥¥work にファイルが作成される。

111_cube80RAW2.TXT	20 KB	テキスト文書	2011/01/10 8:40
200_cube80RAW2.TXT	21 KB	テキスト文書	2011/01/10 8:40
220_cube80RAW2.TXT	21 KB	テキスト文書	2011/01/10 8:40
311_cube80RAW2.TXT	21 KB	テキスト文書	2011/01/10 8:40

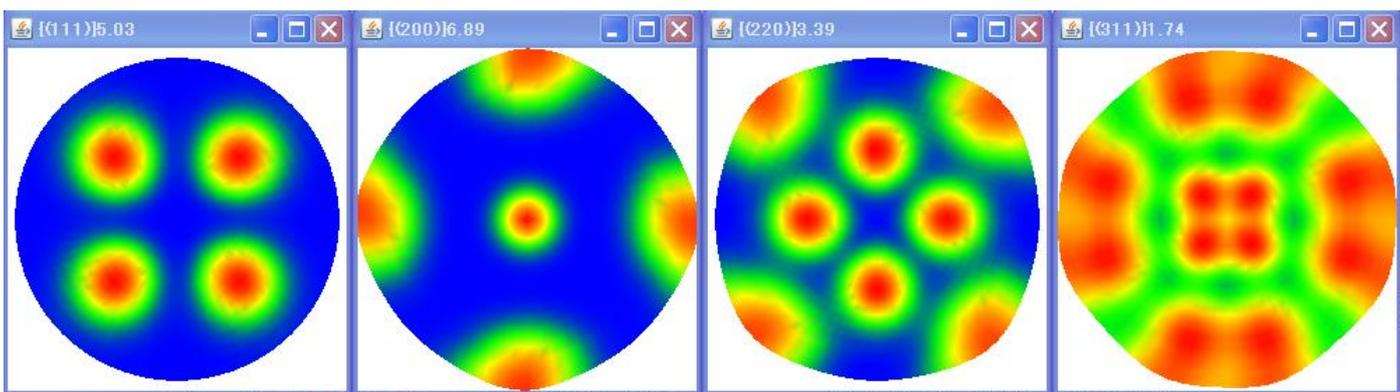


では極点図も表示される。



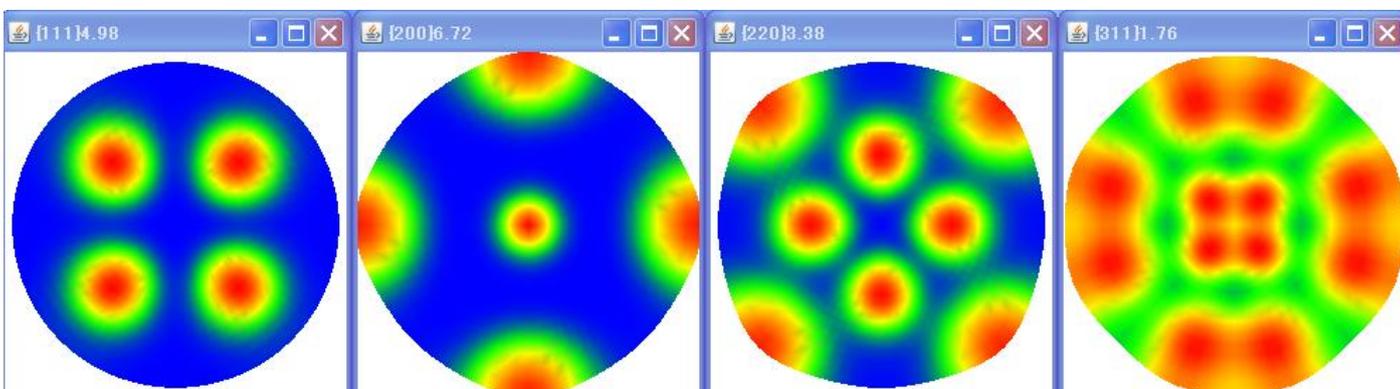
### popLA作成のEPFファイル

Create filename  
(111)\_CUBE80EPF2.TXT (200)\_CUBE80EPF2.TXT (220)\_CUBE80EPF2.TXT (311)\_CUBE80EPF2.TXT

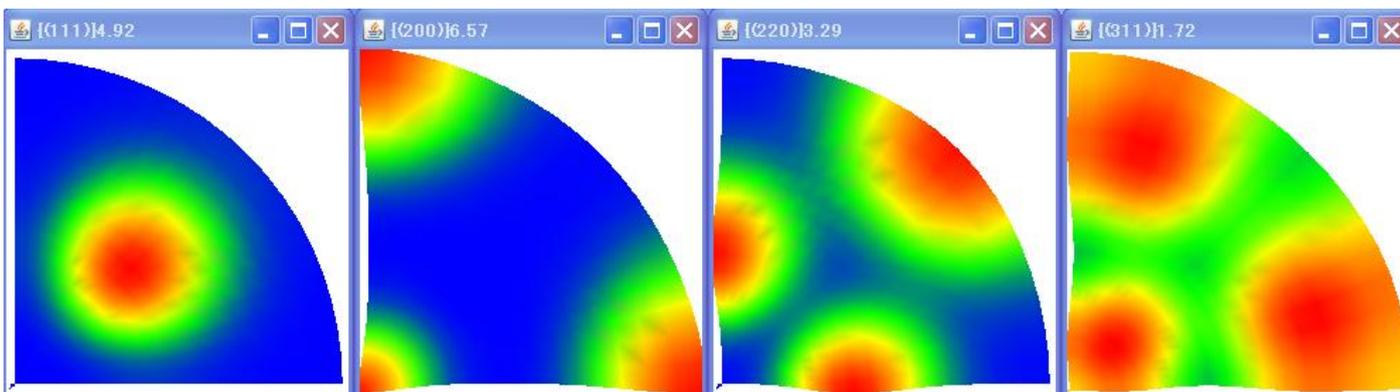


### popLA作成のFULファイル

Create filename  
111\_CUBE80FUL2.TXT 200\_CUBE80FUL2.TXT 220\_CUBE80FUL2.TXT 311\_CUBE80FUL2.TXT



### popLA作成のHPFファイル



などが表示でファイルも作成される。

作成されたTXT2ファイルはPolDisplayの入力データになります。

$\beta$ が0→360度場合、PFtoODF3でも扱えます。

popLAODFの場合

入力データをそのままTXT 2に変換し表示します。

正確なODF表示をされる場合、ODFDisplayソフトウェアを使って下さい。

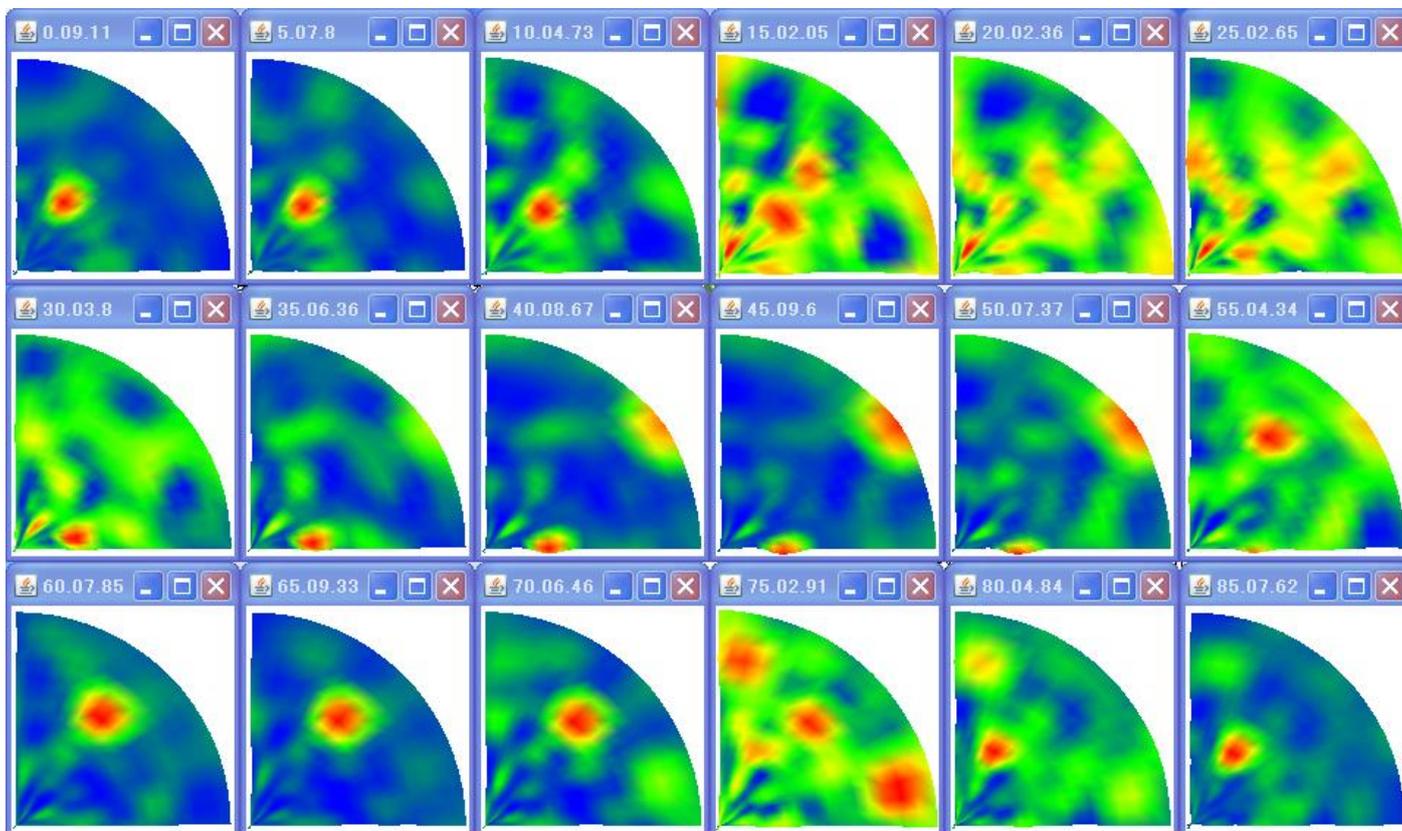
SelectFilename  
C:\\*\\*BC90.CHD

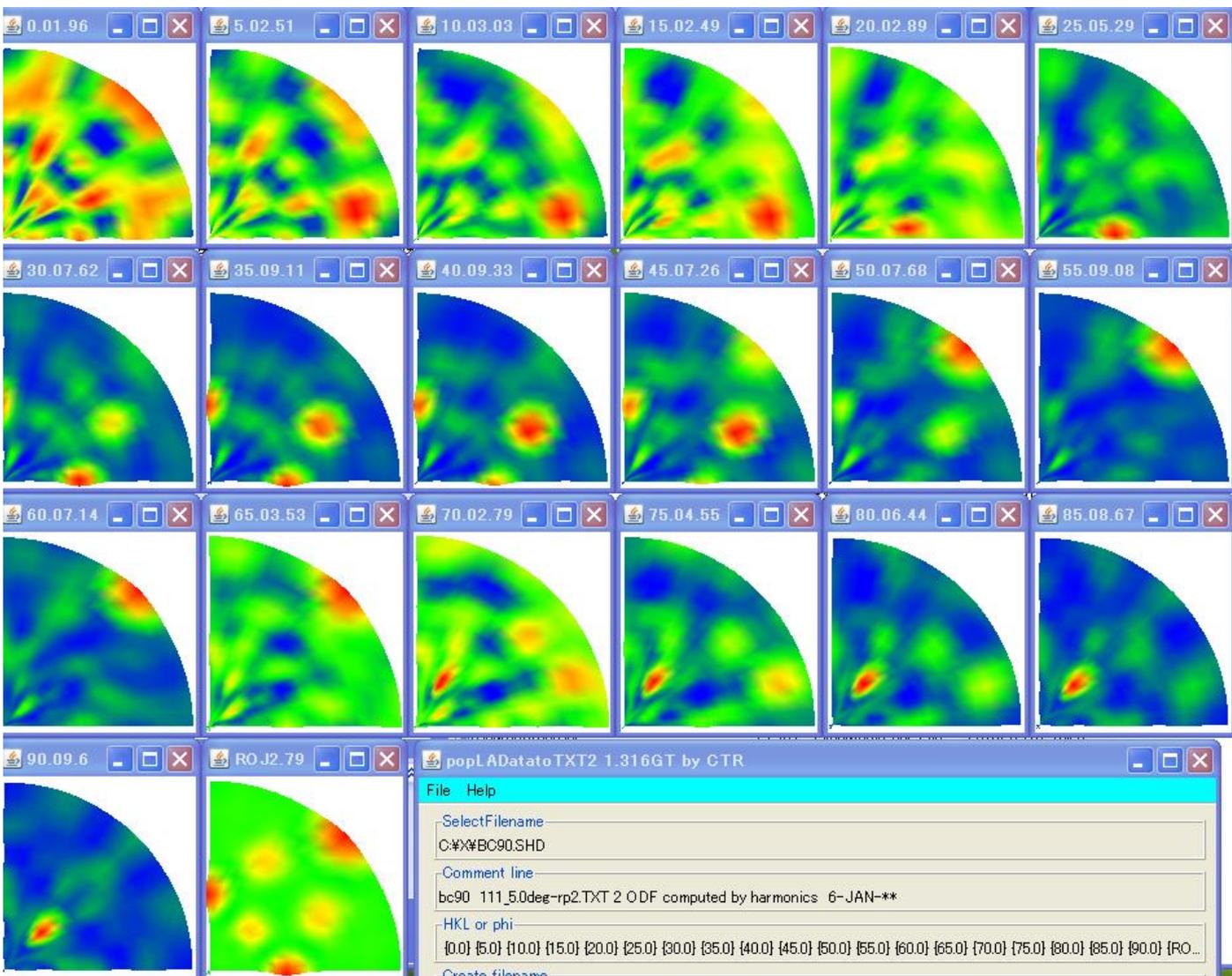
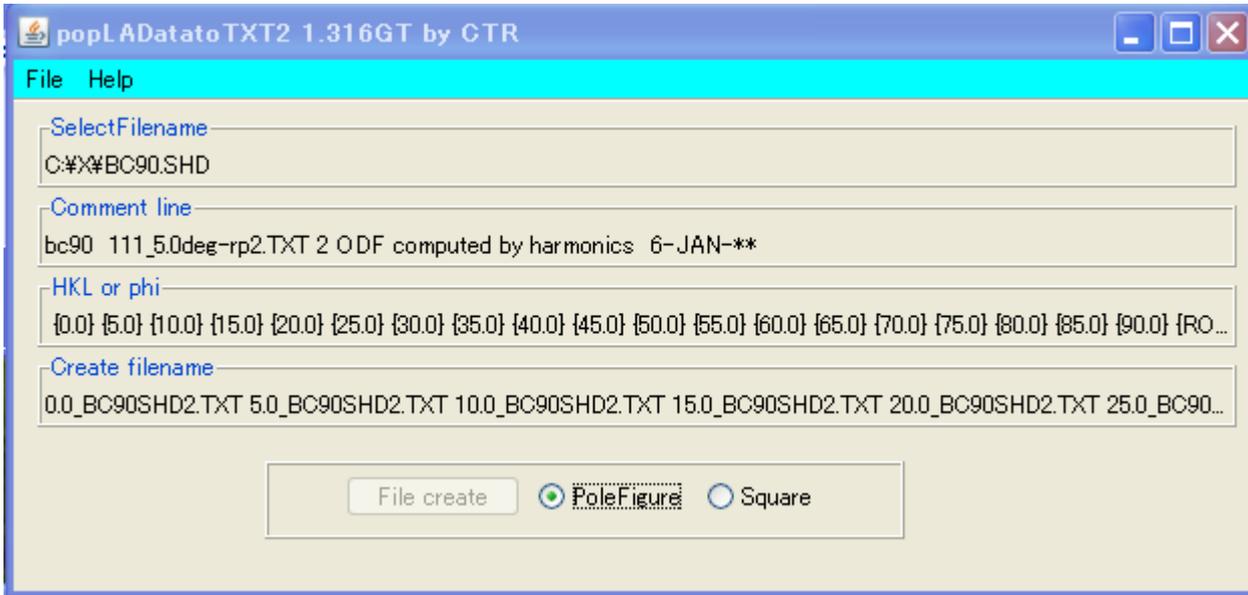
Comment line  
bc90 111\_5.0deg-rp2.TXT 2 ODF by harmonics 7-JAN-\*\*

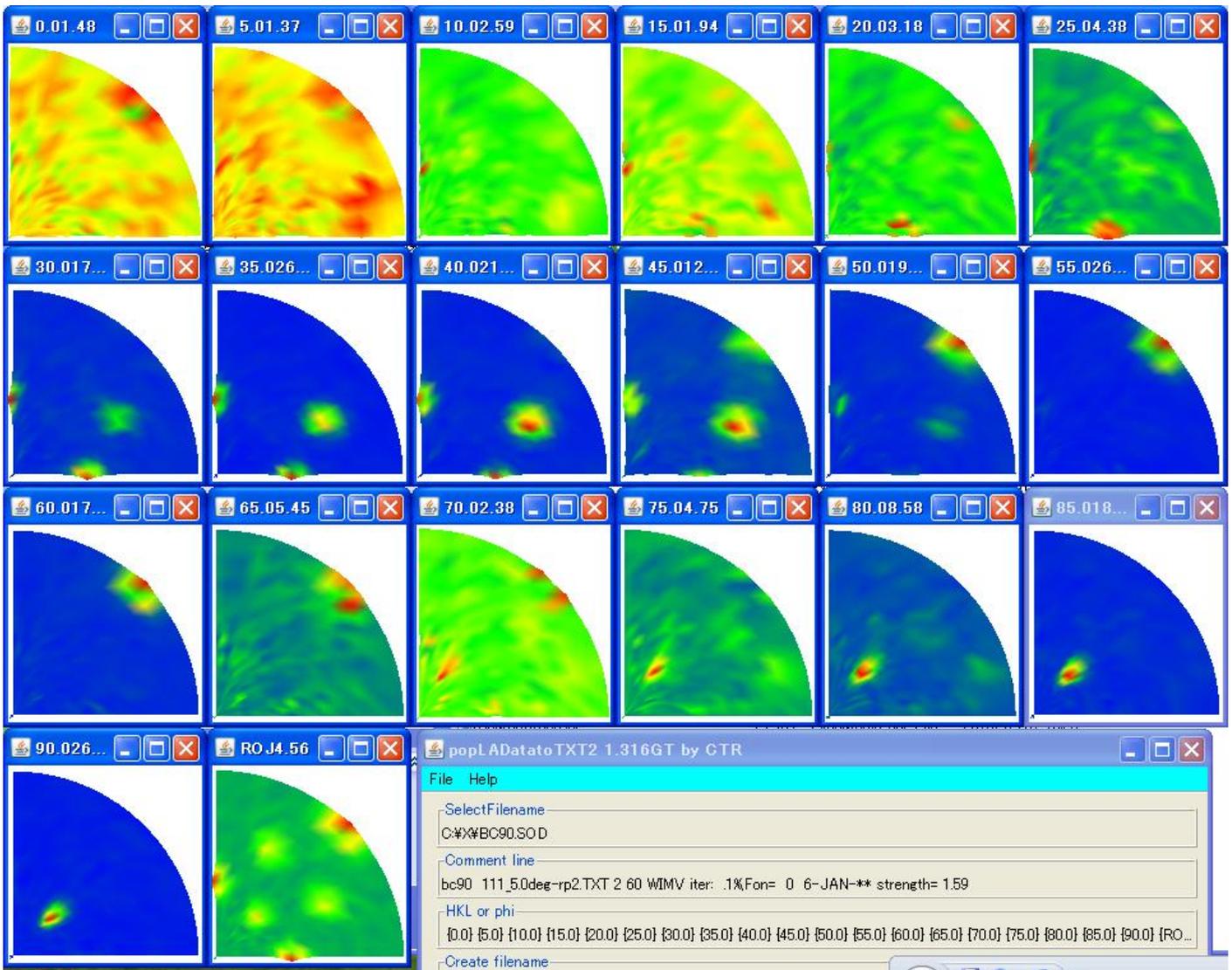
HKL or phi  
{0.0} {5.0} {10.0} {15.0} {20.0} {25.0} {30.0} {35.0} {40.0} {45.0} {50.0} {55.0} {60.0} {65.0} {70.0} {75.0} {80.0} {85.0} {RO J}

Create filename  
0.0\_BC90CHD2.TXT 5.0\_BC90CHD2.TXT 10.0\_BC90CHD2.TXT 15.0\_BC90CHD2.TXT 20.0\_BC90CHD2.TXT 25.0\_BC9...

File create  PoleFigure  Square

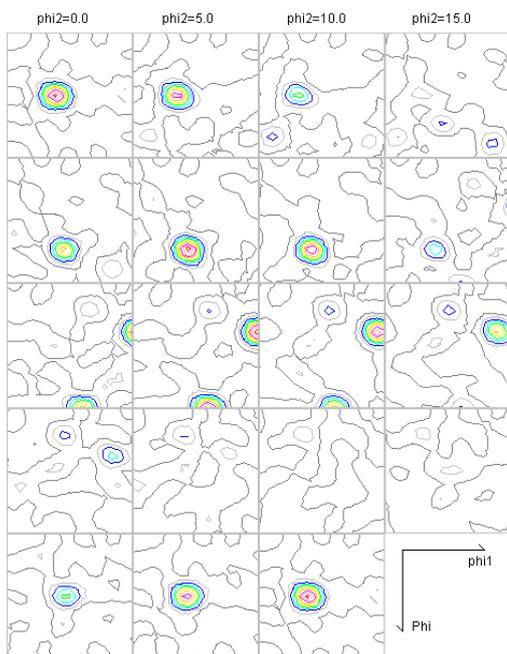
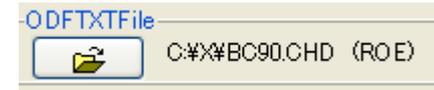




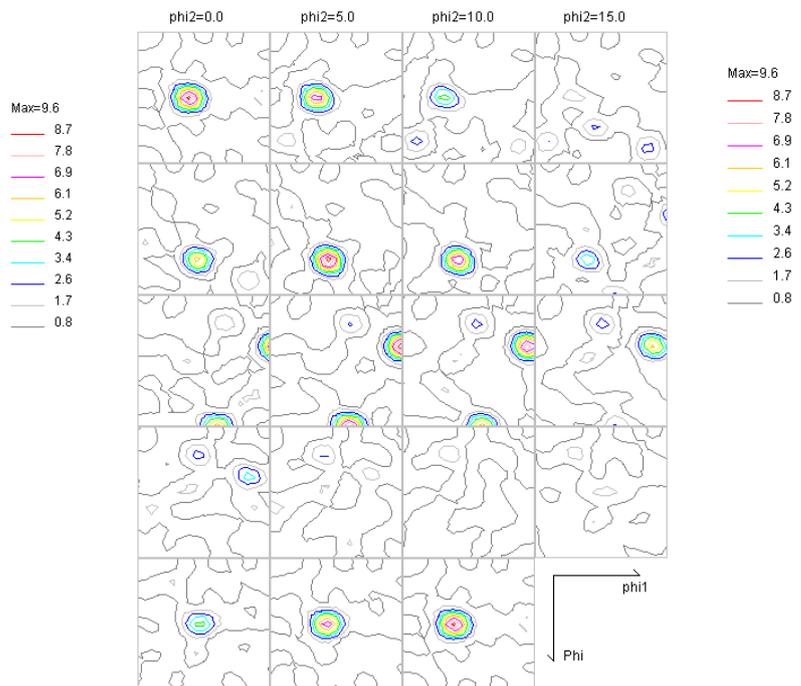


ODFDisplayで

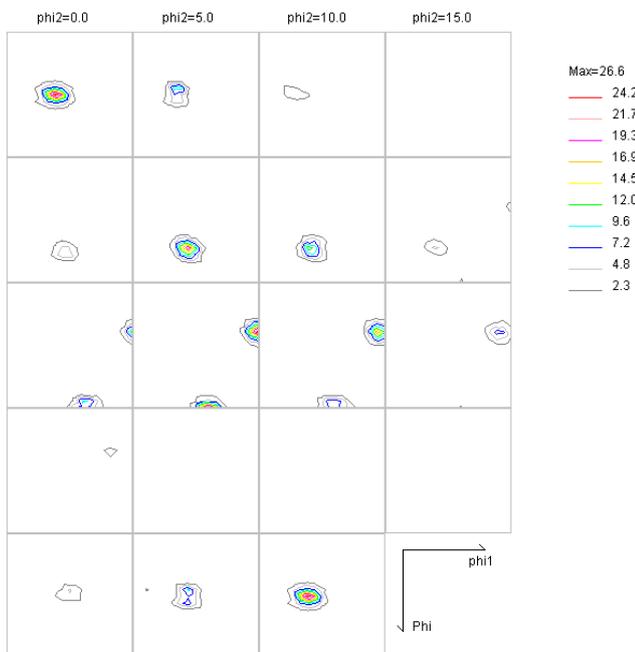
CHDをphi2断面で表示



SHDをphi2断面で表示



SODをphi2断面で表示



CHDはHarmonic法のRoefファイル、SHDはHarmonic法のBunge phi1断面ファイル  
SODはWIMV法のBunge phi1断面ファイルであるがODFDisplayソフトウェアでphi2断面に変換  
WIMV法はゴーストが少なく、シャープの方角解析が行われている事が分かる。  
この事からも、ADC.WIMV法でODF解析し、VolumeFraction定量が意味を持ちます。